

原子力発電所の運営状況

2025年3月4日
 関西電力株式会社

当社の原子力発電所における運営状況について、以下のとおりお知らせします。

1. 運転状況について（2025年3月3日現在）

発電所		電気出力 (kW)	運 転 状 況	備 考
美浜 発電所	3号機	82.6万	第28回 定期検査中 2025年3月2日～2025年6月中旬予定	
	1号機	82.6万	運転中	高浜発電所1号機 余剰抽出水クーラ 冷却水出口安全弁から格納容器サンプ への1次系冷却水の流入 詳細は3（3）のとおり
高浜 発電所	2号機	82.6万	第28回 定期検査中 2024年11月6日～2025年3月上旬予定 (調整運転中)	
	3号機	87.0万	第27回 定期検査中 2025年2月22日～2025年6月下旬予定	
	4号機	87.0万	運転中	
大飯 発電所	3号機	118.0万	運転中	大飯発電所3号機 排気筒ガスモ ニタの一時的な指示値の上昇 詳細は3（2）のとおり
	4号機	118.0万	第20回 定期検査中 2024年12月14日～2025年3月中旬予定 (調整運転中)	

2. 廃止措置の状況（2025年3月3日現在）

発電所名	廃止措置の状況
美浜1号機	・2次系設備の解体撤去作業中（2018.4.2～） ・原子炉周辺設備の解体撤去作業中（2022.10.24～）
美浜2号機	・2次系設備の解体撤去作業中（2018.3.12～） ・原子炉周辺設備の解体撤去作業中（2022.10.24～）
大飯1号機	・2次系設備の解体撤去作業中（2020.4.1～）
大飯2号機	・2次系設備の解体撤去作業中（2020.4.1～）

3. トラブル情報等について

（1）法令に基づき国に報告する事象（安全協定の異常時報告事象にも該当する事象）
なし

（2）安全協定の異常時報告事象

発電所名	大飯発電所3号機	発生日	2025年2月27日
件名	大飯発電所3号機 排気筒ガスモニタの一時的な指示値の上昇		
事象概要 および 対応等	大飯発電所3号機（定格熱出力一定運転中）において、2025年2月27日12時53分にプラント運転監視中の運転員が、排気筒ガスモニタ※¹の指示値が上昇（最大値約1,191cpm、通常値約480cpm）していることを確認しました。 その後、13時12分に指示値が通常値まで下がっていることを確認しました。 現場作業を確認したところ、3、4号機廃棄物処理建屋ではサンプリングラック※²取替工事が行われていたことや、4号機では体積制御タンク※³でガスサンプリングが実施されていたことから、これらの作業との関連性を調査します。 今回排気筒から放出された放射性気体廃棄物の放射エネルギーは、約$1.6 \times 10^9 \text{ Bq}$と評価しており、保安規定に基づく発電所の放出管理目標値（$1.0 \times 10^{15} \text{ Bq/年}$）に比べ十分低く、周辺環境への影響はありません。 また、大飯発電所周辺に設置している環境放射線モニタリングポストの指示値にも有意な変化は認められませんでした。その他のプラントパラメータやプラントの運転状況に異常はありません。 ※¹：運転に伴って発生する放射性気体廃棄物を監視するモニタ。大飯3号機の原子炉周辺建屋および、廃棄物処理建屋からの排気を監視している。 ※²：放射性気体廃棄物を排気筒から放出する前に、濃度確認のための試料を採取する装置 ※³：化学体積制御系の設備で、原子炉容器や配管内の一次冷却材の量を調整するためのタンク （2025年2月27日お知らせ済み） 以上		

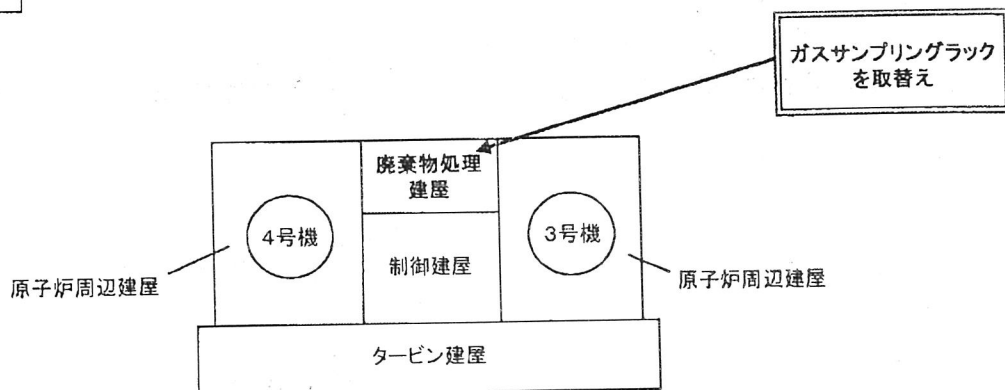
(3) 保全品質情報等

発電所名	高浜発電所 1 号機	発 生 日	2025 年 2 月 12 日
件 名	高浜発電所 1 号機 余剰抽出水クーラ冷却水出口安全弁から格納容器サンプへの 1 次系冷却水の流入		
事象概要 および 対応等	高浜発電所 1 号機（定格熱出力一定運転中）において、2025 年 2 月 12 日 14 時 37 分に、「格納容器サンプ※¹ A 水位上昇率異常高」警報が発信しました。 運転員が格納容器サンプ A の関連パラメータを確認した結果、通常と異なる水位上昇率および 1 次系冷却水※² タンクの水位低下を確認しました。その後、格納容器内を点検した結果、余剰抽出水クーラ※³ 冷却水出口安全弁が動作し、格納容器サンプ A に 1 次系冷却水が流入していることを確認しました。 このことから、17 時 28 分に当該安全弁の上流にある同クーラ冷却水の入口弁を閉止したところ、格納容器サンプ A への流入は停止しました。 余剰抽出水クーラは、プラント稼働中および停止時には使用しないことから、次回の第 29 回定期検査において当該安全弁が動作した原因を調査します。 なお、プラントの運転状態は安定しており、本事象による環境への放射能の影響はありません。 ※ 1：格納容器下部に設けられている水溜め（格納容器内の湿分が凝縮した水が溜まるものであり、機器・配管等から水の漏えいがあった場合も流入する） ※ 2：1 次系のポンプやモーター等から発生した熱を除去するための冷却水（純水であり、放射性物質は含まない） ※ 3：プラントの起動におけるヒートアップ時に通常の抽出水系統に加えて抽出が必要な場合に使用するための冷却器 以 上		

以 上

大飯発電所3号機 排気筒ガスモニタの一時的な指示値の上昇

事象概要



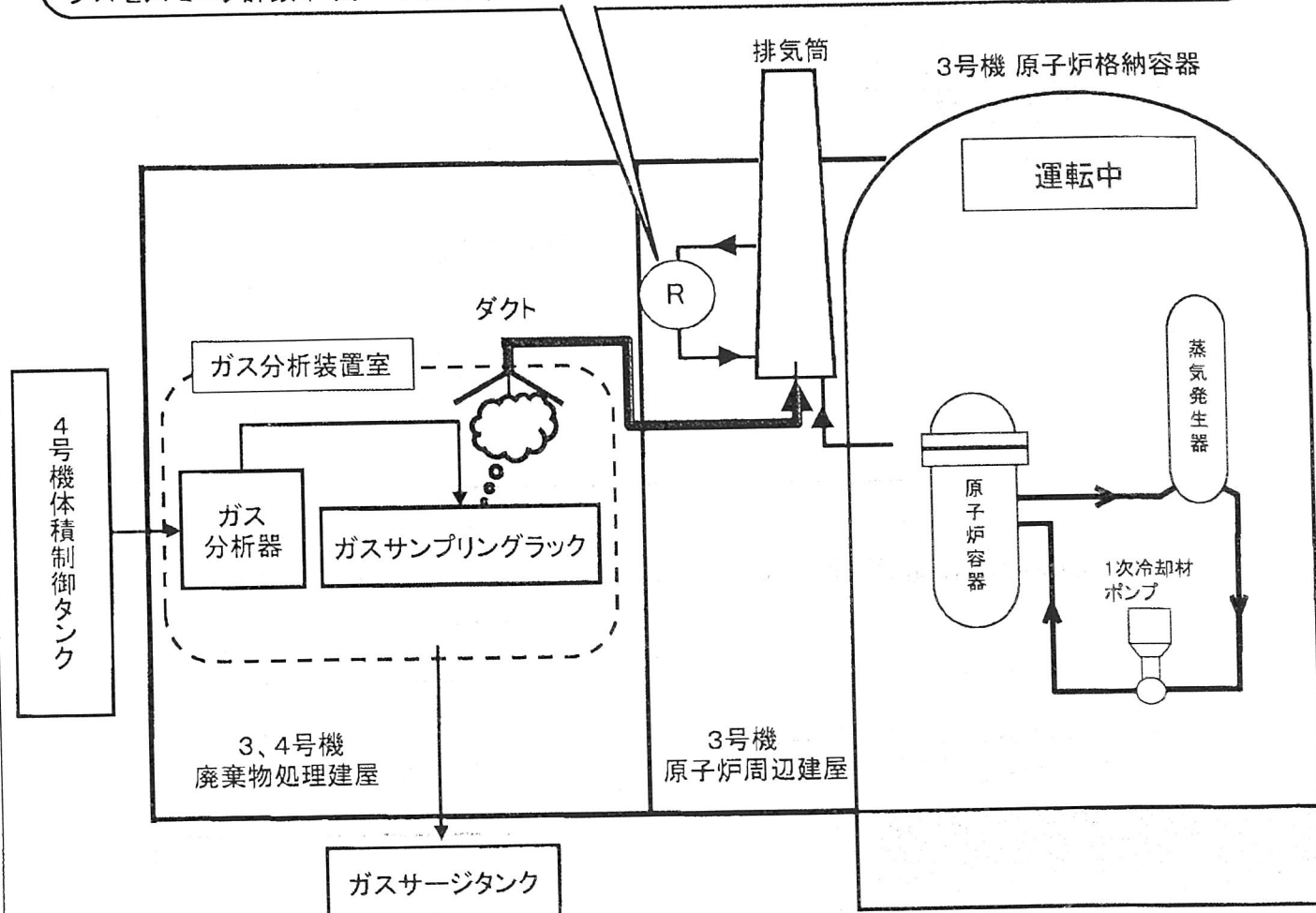
排気筒ガスモニタ

12時53分から13時12分にかけて通常値(約480cpm)を超える値(最大値1,191cpm)まで上昇

警報設定値

プロセスモニタ計数率 注意 4,000cpm

プロセスモニタ計数率 高 10,000cpm

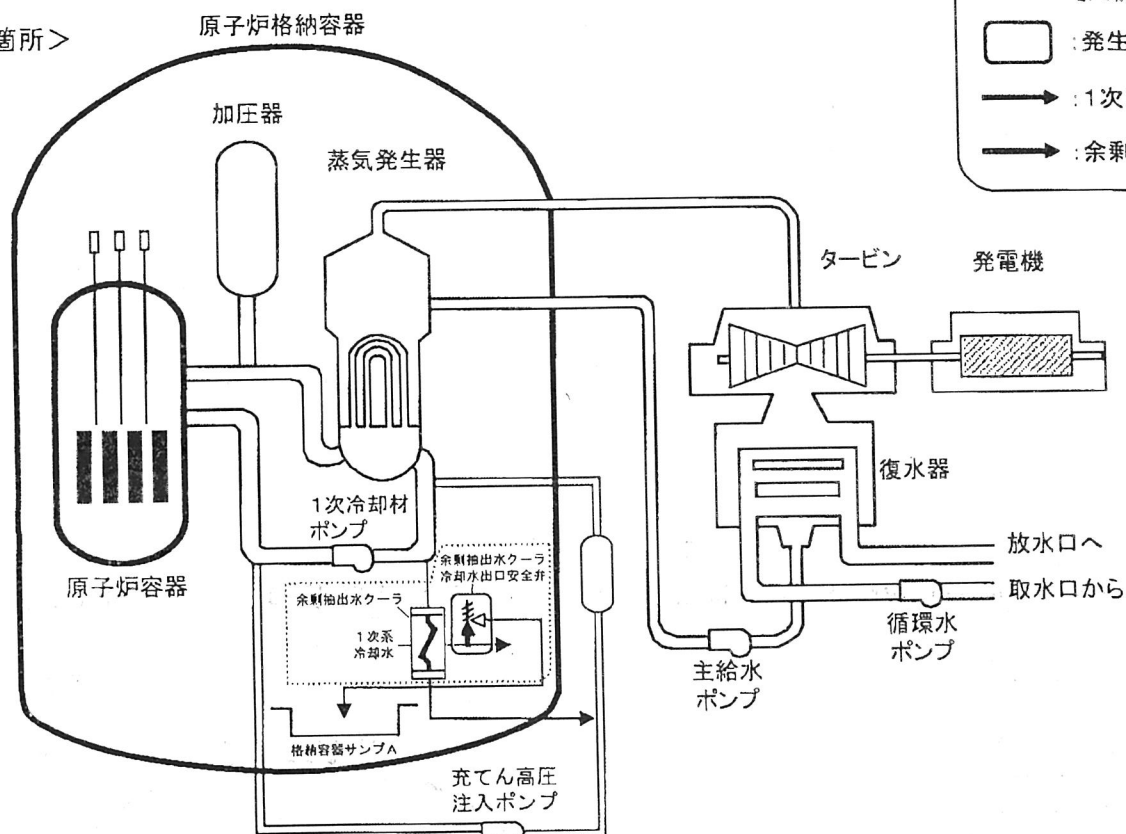


高浜発電所1号機

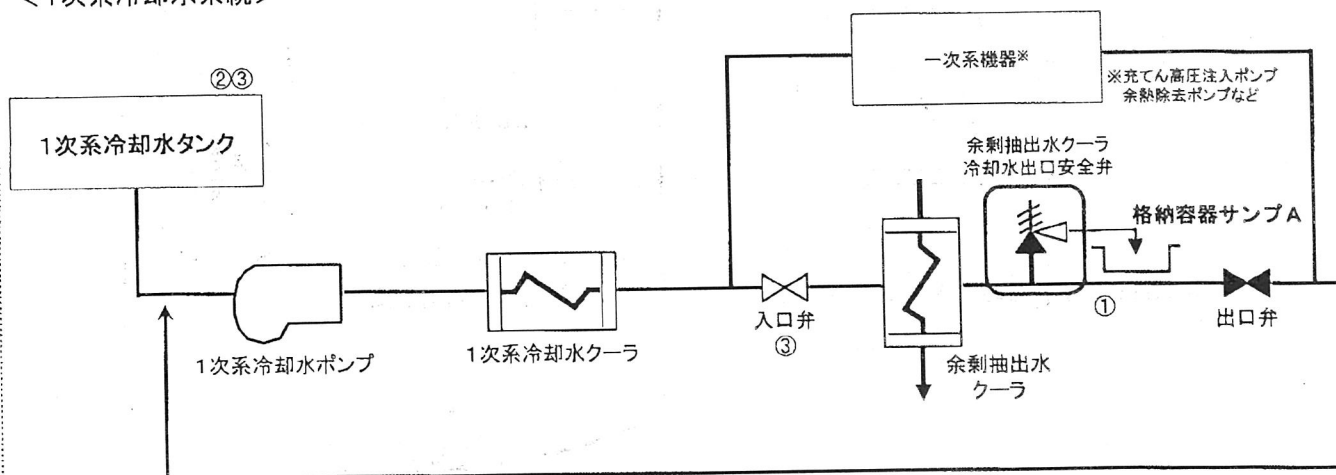
余剰抽出水クーラ冷却水出口安全弁から格納容器サンプへの1次系冷却水の流入

事象概要

<発生箇所>



<1次系冷却水系統>



- ①余剰抽出水クーラ冷却水出口安全弁が動作状態となり、格納容器サンプAに1次系冷却水が流入
- ②1次系冷却水タンクの水位低下を確認
- ③余剰抽出水クーラの入口弁を閉止したことにより格納容器サンプへの流入および1次系冷却水タンクの水位低下が停止